



「社会で生きて働く資質・能力」の育成(3年次)
中学校サブテーマ: 「質の高い深い学び」の実現を通して

日時: 令和5年11月2日(木) (中学校のみ開催)
参加費: 2,000円 (学生 1,000円) *対面実施

**研究の
ポイント**

**見方・考え方を
働かせながら
深い学びを実現**

**一人一人に応じた
学習課題に取り組む
課題研究の推進**






探究的な学びを中核としたカリキュラムデザインをベースに、柱となる2つの取り組みを推進してきました。各教科等の学びと総合的な学習の時間の学びが往還することで、「『社会で生きて働く資質・能力』の育成」を目指しています。

※本校は佐賀県指定「小中連携による学力向上推進地域指定事業」の研究協力校です。

日 程

8:10～	8:30～ 8:50	9:00～ 9:50	10:05～ 10:55	11:15～ 12:15	12:15～ 13:15	13:15～ 13:45	14:05～ 15:45	15:45～ 16:00
受付	開会行事	公開授業Ⅰ	公開授業Ⅱ	研究協議	休憩	生徒発表	特別対談	閉会行事

公開授業Ⅰ

公開授業Ⅰ		授業者・单元名	授業のみどころ
	国語科	2年 野口 知孝 「走れメロス」	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の言動の意味を考えながら内容解釈を行います。 ○主題歌を選択するという言語活動の設定によって、多様な解釈を可能とするとともに、主体的な学習を実現します。
	理科	3年 山崎 寛己 「電池とイオン」	<ul style="list-style-type: none"> ○ダニエル電池を使って、電池の仕組みを考える実験を行います。 ○簡易的な実験装置にすることによって、生徒の再考察を促し、再実験につなげていきます。
	音楽科	1年 嶋 航 希 「校歌の間奏(後奏)を作曲しよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○旋律と和音伴奏との関わりに着目しながら、校歌の間奏(後奏)を作曲します。 ○モデルを提示したり、ICTを活用したりしながら、個別最適な学びを目指します。
	保健体育科 学校保健	1年 山下 薫・榎谷 奈月 「SAGA2024と保健体育を考える」	<ul style="list-style-type: none"> ○深い学びに誘う保健と体育理論のカリマネ単元にチャレンジします。 ○教材は「SAGA2024国スポ全障スポ」です。お楽しみに！
	総合的な学習の時間	2年 立石 哲朗 C-time 「研究テーマを決めよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業研究のテーマと構想を練る授業を行います。 ○3年生の卒業研究発表から着想を得て、自分の研究につなげていきます。 (公開授業Ⅱと同じ内容です。)

研究協議は
**国語科、理科、音楽科、保健体育科、学校保健、
 社会科、数学科、美術科、英語科** の 9つです。

*総合的な学習の時間はありません。

生徒発表は、3年生による課題研究のポスターセッションです。

本校校長
 イメージキャラクター



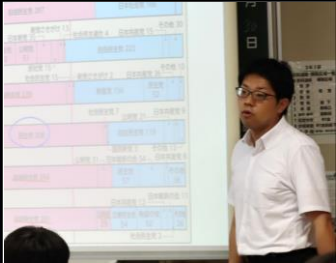




直感は
 信じられる？

桃太郎
 を再現したい！

**最強の
 ゲーム**を
 作る

など様々なテーマ
 で研究に取り組ん
 でいます！

公開授業II

	授業者・单元名	授業のみどころ
	3年 田中 達也 「地方自治と私たち」	○身近な地域の課題とこれまでの学習での学びを関連付け、生徒とともに課題設定を行います。
	1年 大浦穂美香 「変化と対応」	○日常の中のものをも数学化させる授業に取り組めます。 ○生徒に見方・考え方を働かせ規則性に気づかせるための発問に注目ください。
	2年 砂山 涼子 「暮らしに息づく土の造形」	○身近にある陶磁器の魅力に気づく授業を行います。 ○様々な陶磁器に直に触れ、様々な角度から比較し、それぞれの良さを発見します。
	3年 原田 俊 「A Legacy for Peace」	○生徒同士がコミュニケーションを通して、ガンディーに対する見方や考え方の違いに気づいたり、新たな発見を楽しんだりする授業を目指します。
	2年 釘本 聡子 C-time 「研究テーマを決めよう」	○卒業研究のテーマと構想を練る授業を行います。 ○3年生の卒業研究発表から着想を得て、自分の研究につなげていきます。 (公開授業Iと同じ内容です。)

特別対談

テーマ：「探究」から広がる可能性とこれからの教育

講師：一般社団法人Glocal Academy 理事長 **岡本 尚也 先生**
武蔵野大学附属千代田高等学院 校長 **木村 健太 先生**

おかもと なおや
岡本 尚也

慶應義塾大学理工学部卒、同理工学研究科修了後、ケンブリッジ大学にて物理学博士号を取得。その後、オックスフォード大学にて日本学修士号を取得。ケンブリッジ大学在学中の研究成果がNature Materials等、世界トップジャーナルに論文が掲載された。現在は、後進の育成や、社会や学術における諸課題に取り組む個人および団体を支援する一般社団法人Glocal Academyの代表理事を務める。全国のSGHやSSHの課題研究指導・教育プログラム作成などの支援のほか、大学や企業の支援も行っている。文部科学省中央教育審議会臨時委員、経済産業省産業構造審議会教育イノベーション小委員会委員、東京大学先端科学技術研究センター先端教育アウトリーチラボアドバイザー、米国国務省事業International Visitor Leader、鹿児島市教育委員などを務めながら、成長を続ける人や組織の支援を行っている。主な著書として『課題探究メソッド～より良い探究のために～』（啓林館）等

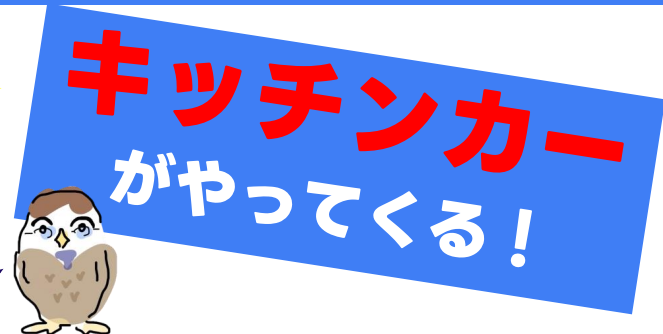


きむら けんた
木村 健太

生徒の主体性を軸とした研究的な学びを推進するため、学校現場において、本格的な研究が可能なラボの設計、研究活動と教科・科目が連動したカリキュラムの確立、医療や研究・ビジネスや行政・地域及びグローバルな課題の実際に触れるキャリア教育を展開する中高大産官学連携、一人一台体制のiPadやChromebookの導入など、探求/研究・STEAM教育の立ち上げとICT環境の整備を進めてきた。また、私学の管理職として、経営戦略や募集戦略を検討するとともに、進路指導の在り方や校務分掌の見直しを含めた体制の再構築を進め、経営的な観点からの実現性を確保してきた。学外では、内閣府総合科学技術・イノベーション会議委員、経済産業省産業構造審議会委員、同省未来人材会議委員、同省未来の教室委員、科学技術振興機構次世代科学技術チャレンジプログラム推進委員、東京都科学の甲子園（TOKYOサイエンスフェア）運営委員等を歴任し、中等教育における本質を多方面から追求している。



カリガリカレーをはじめ、県内の
おいしいグルメが集結します！
是非お召し上がりください。



キッチンカー
がやってくる！



申し込み

下記の申し込みForms、または
学校HPから申し込みください。
10月31日までにお願います。



申し込み
Formsは
こちら
←



学校HPは
こちら
←

X (旧Twitter)

にて研究発表会情報や
中学校の取り組みを
更新しています！



【お問い合わせ先】

佐賀大学教育学部附属中学校
〒840-0041

佐賀県佐賀市城内一丁目14番4号
TEL:0952-26-1001 fax:0952-26-1003

<https://www.fuchu.pd.saga-u.ac.jp/>

担当：研究主任 岡本洋平